

伊豆沼・内沼

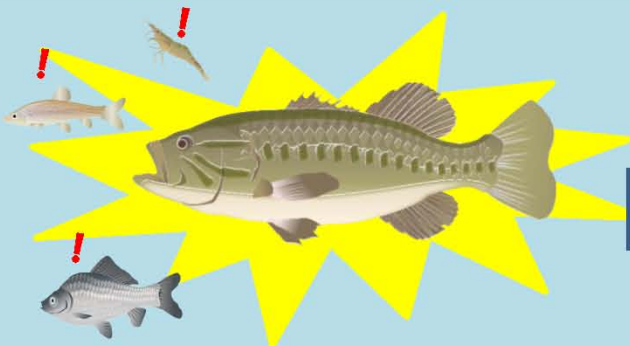
サンクチュアリセンターニュース 2013年5月号

Vol. 35

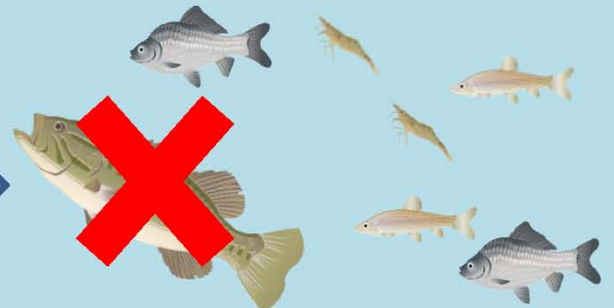
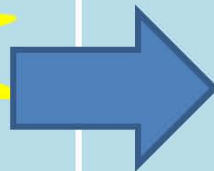


(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
ホームページ: <http://izunuma.org/>
E-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp

沼に昔から住んでいた魚を取り戻すための活動をしています



沼の多くの魚が、90年代にオオクチバスによって食べられてしまいました。



バスを駆除することで沼の魚や水鳥を取り戻す活動をしています。

電気ショッカーボート

ボートに搭載した発電機から水中へ電流を流し、気絶して浮き上がった魚のうちオオクチバスやブルーギルだけを狙ってすくい取る方法です。



バス・バスターズ2013

4月20日、伊豆沼南東（彦道地区）に150基の人工産卵床を設置しました。人工産卵床は、バスに巣を作らせ、卵を巣ごと駆除する道具です。バス・バスターズ結成から10年。今後も駆除活動を続けていきますので、よろしくお願いいたします。6月下旬の毎週日曜日、9:00から開催します。詳しい内容は財団（連絡先は上記）までお問い合わせください。



小魚が増えてきました



オオクチバスを駆除したことで、フナなどの小魚が生き残るようになってきました。



最近、沼の定置網で獲れる魚が増えていきます。



近くのお店でも伊豆沼で獲れた魚が売られるようになってきました。

伊豆沼・内沼いきもの図鑑

オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus*




見られる時期：4月下旬～8月中旬
見られる場所：沼周辺のヨシ原
食べ物：昆虫など

伊豆沼・内沼では、4月下旬から8月中旬にかけてみられる鳥です。東北本線沿い、獅子ヶ鼻、内沼の八沢川と太田川流入口などの広いヨシ原に多く生息しています。

一夫多妻で繁殖し、1羽のオスに対して2、3羽のメスがいます。

「ギョギョシ、ギョギョシ」とさえずり、この地域では「ゲゲツ」と呼ばれています。ヨシ原の近くで、この声が聞こえたらオオヨシキリが鳴いているかもしれませんね。



 オオヨシキリがよく見られる場所